

産業教育のイメージ（案）

（高等学校専攻科）

※高等学校若しくはこれに準ずる学校等を卒業した者等に対して、精深な程度において、特別の事項を教授し、その研究を指導することを目的として設置される課程（修業年限1年以上）。

【高等学校】 （産業教育）

- ① 各職業分野で求められる基礎的・基本的な知識や技術を習得させるとともに、各職業の社会的意義や役割を理解させる。
- ② 各職業分野に関わる課題（職業能力の専門性の深化、持続可能な社会の構築、グローバル化・少子高齢化等への対応）に対して、職業人としての倫理観をもって、主体的・協働的に取り組み、合理的かつ創造的に解決する能力を育成する。
- ③ 産業・社会を支える職業人として必要な豊かな人間性、産業の振興や社会に貢献しようとする態度及び社会の変化に対応して学び続ける態度を育成する。

（共通教科）

- 家庭や個人の生活上等の課題の解決に必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力等、態度等の育成。（家庭科、公民科、情報科、保健体育科 等）
- 職業において共通に必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力等、態度等の育成。（全ての教科）

【義務教育】

- 家庭や個人の生活上等の課題の解決に必要な基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等、態度等の育成。（生活科、理科、社会科、家庭科、技術・家庭科、保健体育科 等）
- 職業において共通に必要な基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等、態度等の育成。（全ての教科）

多様な評価手法



高等学校基礎学力テスト（仮称）



全国学力・学習状況調査

